



きりんぐみだより10月

2018年10月1日 保土ヶ谷保育園

きりん組担任

最近の子どもたちの様子

暑かった夏が終わり子どもたちの服装も秋の装いになってきました。保育室では新しい玩具を用意すると興味を持つきりん組！一番の人気は立体迷路です。球体の中に組み込まれた迷路の中をボールを転がしゴールを目指します。クリア出来ると大きな声で喜びを表現しています。午睡時間が無くなり遊びの時間が増えたきりん組は昼食後も遊びが継続しています。午睡がなくなってしばらくは「眠いな・・・」と声を掛けて来る子どもの姿も見られればんだ組一緒に午睡をする場面も見られましたが、今の生活にも少しずつ慣れてきた様でその姿もなくなってきました。家庭では夜の入眠時間が早くなったご家庭もあるのではないのでしょうか。

《戸外活動》

9月に入り過ごしやすい気温になり戸外で過ごす時間が多くなり、「あついからそといきたくない」と言っていた子どもたちも積極的に外に出て遊ぶ姿が見られるようになってきました。そんなある日社宮司公園へ散歩へ行くとゲートボールを楽しむ方の姿を発見した子どもたち。おはようございます！と元気一杯挨拶をし自分たちの遊びへと向かうと思った所・・・応援が始まり、「ナイスショット！」「おしいー」「がんばってください」と様々な声を掛け、ゲートボールをされていた方々からは「ありがとう」と盛り上げてくれる事が嬉しいとの声を頂きました。

《プールじまい》

9月に入ると夏に楽しんだプールも終わりの時期！夏の間お世話になったプールに「ありがとう」の気持ちを込めて「プールじまい」を行いました。プール開きの時同様にお浄めを行い大きな声でありがとう！と声を掛ける子どもたち！きりん組は年下の友だちの前で賞状をもらいメダルを掛けてもらいました。表彰状は特別感があったようで表情からも嬉しさが伝わってきました。そして園庭にあったプールが片付けられる日。どのように分解されていくのか興味津々で見学する子どもの姿も見られました。そして見学しながら「がんばれー」と元気な声で片付けの手伝いをしてくれました。来年は小学校の大きなプールに入る事になりますね。

《寒天作り体験！》

おやつメニューで寒天がメニューになった時がありました。子どもたちは寒天がどのように出来ているのか知っているかな？との思いから始まった寒天作り！寒天棒を出した所、これ食べる事出来るの？との声が聞かれました。水に入れると少しずつ柔らかくなりその感触を楽しみながら細かくちぎり、あとは給食の先生にバトンタッチ！そして固まって出てきた寒天をテン突きに入れて押し出す作業にとりかかりました。棒状だった寒天が細くなって出てくる事に大喜び！繋がって出て来ると大成功！と得意げに報告してきました。

そして、いよいよ食べてみる事に！黒蜜をかけた寒天にフルーツをトッピングして食べる事にしましたが、子ども達にとって黒蜜は少々癖のある味だったようで、好き嫌いが分かれました。

9月の保育

- ◆季節の変化に応じて、環境を整え快適に過ごせる様にする。
- ◆友だちと関わりながら、思いっきり身体を動かして遊ぶ事を楽しむ。
- ◆秋の自然に興味・関心をもち、ふれたり遊びに取り入れれたりしながら楽しむ。
- ◆10月のクッキング以前作ったパン作りを活かしてピザ作りをします。また子どもたちと掘った芋を焼き芋にしてもらいたいと思います。

お知らせ

- ◆秋の保育でアンケートを取りました染物体験は皆様の賛成が得られましたので実施します。
- ◆年度末のケーブルテレビ出演は皆様の了承が得られましたので12月7日に撮影が行われます。